

社協 たより



4

2025
月号
Vol.95

西光坊のしだれ桜。野萱地区を見守り続けています。社協もそんな存在でありたいと思います。



こころん
飯南町社協マスコットキャラクター



社会福祉法人 飯南町社会福祉協議会

〒690-3401 島根県飯石郡飯南町野萱 1826-2

TEL:0854-76-2170 FAX:0854-76-2086

E-mail:i-shakyo@iinanshakyo.com

URL:<https://www.iinanshakyo.com/>



研修会を開催しました。地域福祉課

2月21日(金) 日常生活自立支援事業 生活支援員研修

◆講演：『意思決定支援について』

～私たちのことを私たち抜きで決めない～

講師：相談支援事業所 ふあっと

足立 須和子氏



講師：足立さん

◆参加者：生活支援員9名

◆内容：すべての人には意思があり、決める力があるという前提で接すること。支援者として本人の視点に立ち、本人の意思を尊重していくことが大切。



◆後半は、コーヒーコーディネーターの資格を持つ社協職員から、コーヒーの淹れ方を教わり、味わいあるコーヒーの香りに包まれながら情報交換をしました。

2月28日(金) サロンリーダー研修会

◆広島市豪雨災害伝承館視察

◆参加者：15名

◆内容：広島市豪雨災害から10年半。被災者である松井館長から、当時の被災状況や伝承館建設の経緯をお話いただきました。

「こんなつらい思いは誰にもしてほしいくない、犠牲者が一人も出てほしくないという思いからあの災害を語り継ぎ、防災・減災へつなぎたい」と、伝えられました。もしも災害が起きた時は、地区住民のつながりが大切で、地域交流の場であるサロンの役割はとても大きいと感じました。



3月7日(金) 福祉合同会議

◆講演：『出会い・広がり・学び合う

～宍道からはじまる町の居場所づくり～』

講師：コミュニティデザイン Place

代表 高橋 椿太郎氏

◆参加者：福祉会・自治振興協議会代表者、高校生
行政・社協職員など51名

◆内容：若者世代の地域福祉活動への参加をめざして高橋さんからお話をいただきました。



講師：高橋さん

◆高橋さんのすすめる『居場所づくり』では、宍道高校の生徒と地域の方とのつながりが生まれています。



◆メイシコウカンでお互いを知る！
新しい出会いから何かが始まります。

令和6年度
しまね流福祉の
まちづくり活動団体

知事表彰
受賞



小田真木自治振興協議会

この度、住民が主体となって地域の福祉課題を解決する等の活動を行う団体のうち、特に優れた活動を行っている団体として、小田真木自治振興協議会が受賞されました。

『10年後も安心して暮らせる小田真木をめざして!!』を目標に掲げ

1. つながりづくり
2. 安心安全なくらしづくり
3. 地域の魅力づくり

を3本柱として地道に活動を続けられています。

他地域においても、このように地域福祉活動が活発に行なわれるよう社協としても働きかけを行ってまいります。



危険な場所を見つけ、
マップ作りに役立ってます。



令和6年度 赤い羽根共同募金ご報告

募金総額: **2,443,469 円** (最終)

皆様からお寄せいただいた募金は、
・小中学校・公民館による福祉教育推進事業
・飯南町社協が行う地域福祉事業
・各種団体への公募配分金事業
・民生児童委員協議会が行う福祉事業
などに使われます。

令和7年度 赤い羽根共同募金 公募助成事業のお知らせ

飯南町社会福祉協議会では、広域を対象とした福祉活動に対し、皆様からお寄せいただいた赤い羽根共同募金を原資とする助成を行っています。

- 助成金額 総額 30万円
- 申込期限 令和7年5月16日(金)
- 問い合わせ先 飯南町社会福祉協議会
TEL: 0854-76-2170

募金の内訳	
募金種別	募金額
戸別募金	1,993,050 円
学校募金	29,199 円
職域募金	52,400 円
個人募金	14,577 円
イベント募金	81,853 円
街頭募金	32,872 円
赤い羽根自販機	120,075 円
町内店舗設置募金箱	84,483 円
募金百貨店プロジェクト	10,300 円
その他	24,660 円



皆様のあたたかいご協力
ありがとうございました。

ー飯南町社会福祉協議会ー 事業に関する苦情解決の取り組みについて

飯南町社会福祉協議会では、本会の事業を利用される方や住民の皆様からのご意見や苦情に対し、適切な解決と再発防止に役立てるため、苦情解決体制を整備し、苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を設置しております。ご意見や苦情などございましたら、下記の窓口までお申し出ください。

◆苦情受付担当者

総務課 奥野 直樹 (TEL: 76-2170)
地域福祉課 吾郷 由美子 (TEL: 76-2170)
在宅福祉課 永田 留実子 (TEL: 76-2088)
居宅支援課 本田 美穂 (TEL: 76-2611)
あかぎの里 藤原 昌巳 (TEL: 76-2600)
赤名保育所 大森 浩美 (TEL: 76-2792)
来島保育所 奥野 陽子 (TEL: 76-3284)
桜ヶ台保育所 山根 寛子 (TEL: 72-0237)
さつき保育所 田原 慶子 (TEL: 73-0474)

◆苦情解決責任者

事務局長 景山 知充 (TEL: 76-2170)
赤名保育所 景山 直美 (TEL: 76-2792)
桜ヶ台保育所 原 美佳 (TEL: 72-0237)

◆第三者委員

【社協】

赤来地区 中祖 美也子 (TEL: 76-2644)
頓原地区 三原 愛子 (TEL: 72-0172)

【保育所】

赤来地区 田原 明美 (TEL: 76-2279)
赤来地区 飯島 良子 (TEL: 76-3219)
頓原地区 渡邊 陽子 (TEL: 72-1060)
頓原地区 玉野 厚美 (TEL: 73-0624)

来島保育所 佐藤 孝志 (TEL: 76-3284)
さつき保育所 田原 慶子 (TEL: 73-0474)

※苦情は面接、電話、書面などにより苦情受付担当者が随時受け付けます。

基本理念

「一人ひとりのつながりを大切にし、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを進めます」

基本目標 「頼られる社協、応える地域福祉活動を目指します」

- 法人運営の重点事項
- ・職員全体のスキルアップと適正な評価のため、「評価制度」を導入
 - ・人材確保のため紹介制度を新たに設ける
 - ・他機関との連携をさらに深める中で「包括的支援」を進め、「自助」「共助」「公助」「互助」を基本とした地域福祉活動を進める
 - ・介護事業統合及び施設建設の目標年度達成を目指し、協議、手続きを進める
 - ・人口減少・少子化を踏まえ、今後の保育所規模について具体的な協議を行う
 - ・財政の健全化に向け、職員一体となって稼働率の向上とコスト削減に取り組む

令和7年度 主な事業

法人運営 部門 -総務課-

【実施事業】

役職員会議の開催/諸規定の整備/地域公益活動/情報開示による事業の透明性の確保
社協会費の募集/公的財源の確保/福祉・介護人材の安定的な確保と定着
基金の活用による地域住民への還元/各部署との連携による職員育成研修/資格取得の推進
職員の福利厚生/社協事業の苦情解決

地域福祉推進 部門 -地域福祉課-

【実施事業】

小地域福祉活動推進事業/生活支援体制整備事業/ふれあいいきいきサロン事業
ボランティアセンター事業/福祉教育推進事業/総合相談事業/権利擁護事業
単身高齢者・高齢者世帯等事業/貸付相談事業/いーなんくらしのおたすけ隊事業
配食サービス事業/地域福祉諸団体との連携事業/赤い羽根共同募金活動
日赤飯南町分区活動/災害ボランティアセンターの設置運営

保育所

【実施事業】

通常保育◇子どもの発達に応じた保育◇四季の自然を生かし、慣習を取り入れた保育
◇食育活動◇学校、地域との交流活動 等
子育て相談事業/延長保育事業/ファミリーサポートセンター事業/一時保育事業
職員の研修(研修の企画・実施、内部研修、外部研修への参加)/各種会議への参加

「介護事業統合に関する協定書」調印式を行いました

町内2ヶ所の特別養護老人ホーム及び付随する在宅介護サービスの統合について、飯南町塚原隆昭町長立ち合いのもと、社会福祉法人友愛会理事長と本会会長による「介護事業統合に関する協定書」の調印式を令和7年3月31日に行い、協定を締結いたしました。

今後の人口推移、介護人材不足、施設の老朽化等の諸課題について、飯南町と友愛会・本会において複数年にわたり協議を重ね、飯南町の高齢者福祉のあり方、そして「終の棲家(セーフティネット)」を恒久的に維持し、在宅介護サービスにおいても充実させていくことを基本として概ねの方向性が整いました。さらに4月5日④に住民説明会を実施。今後も進捗状況を町民の皆さまにお知らせしながら進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。



在宅福祉課

介護保険部門

◆通所介護事業係

【実施事業】 介護保険通所介護事業/障がい者生活介護事業
来島高齢者生活福祉センター事業(居住部門・生活管理短期宿泊事業)
冬期宿泊センター運営

◆訪問介護事業係

【実施事業】 介護保険訪問介護事業/障がい者居宅介護事業
法定外福祉サービス事業

居宅支援課

【実施事業】 介護保険におけるケアプランの作成/要介護認定訪問調査
障がい者計画相談支援

特別養護老人ホーム あかぎの里

基本姿勢 利用者様にとって、

「住み慣れた地域で、自分らしく穏やかに安心して暮らせるように」
私たち職員は、「知性を磨き」「和を大切に」「感謝の心で」「誠実に」取り組みます

- ・「自分の大切な人」を安心して託すことができる「明るく・温かく・穏やかな生活の場」を創り、
“ここに住んで良かった”と言っていただける施設づくりを目指します
- ・多職種協働を意識し、知恵を出し合い、利用者お一人おひとりの生活を支えています



令和7年度 当初予算

事業活動収支予算額



収入の部 (単位:千円)	
会費収入	2,507
寄付金収入	2,050
経常経費補助金収入	46,122
受託金収入(保育所)	226,797
受託金収入(その他)	45,108
貸付事業収入	200
事業収入	4,555
介護保険事業収入	266,220
障がい福祉サービス収入	1,096
その他の事業収入	3,590
助成金収入	80
受取利息配当金収入	19
その他の活動収入	29,278
合計	627,622

支出の部 (単位:千円)	
人件費支出	478,964
事業費支出	106,204
事務費支出	33,067
利用者負担軽減額	464
貸付事業支出	200
分担金支出	170
助成金支出	3,254
負担金支出	658
施設整備支出	5,133
その他の活動支出	10
当期資金収支差額	△502
合計	627,622

（敬称略）

故人名

TEL:0854-76-2170